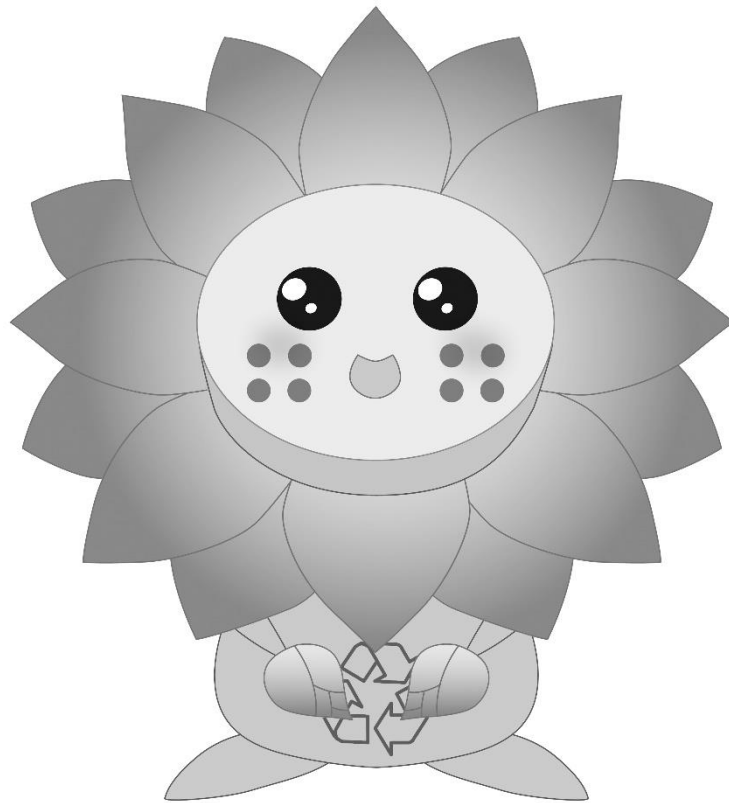


ごみ量の推移と 第2次町田市一般廃棄物資源化 基本計画の達成状況



2026年7月

町田市環境資源部

1. 総ごみ量及び資源化量の推移

(1) 総ごみ量（資源を含む、家庭系・事業系の合計）

- ・2025年度の実績は109,074tとなり、計画の基準年である2019年度比で11,520t（9.6％）減少、2024年度比で2,193t（2.0％）減少しました。2021年度以降減少が続いています。
- ・2025年度の人口（10月1日時点）は2019年度と比較して0.34％増加しています。
- ・総ごみ量は減少し、人口は増加したため、2024年度と比較して、1人当たりのごみ量は減少しています。

図1 総ごみ量と人口の推移

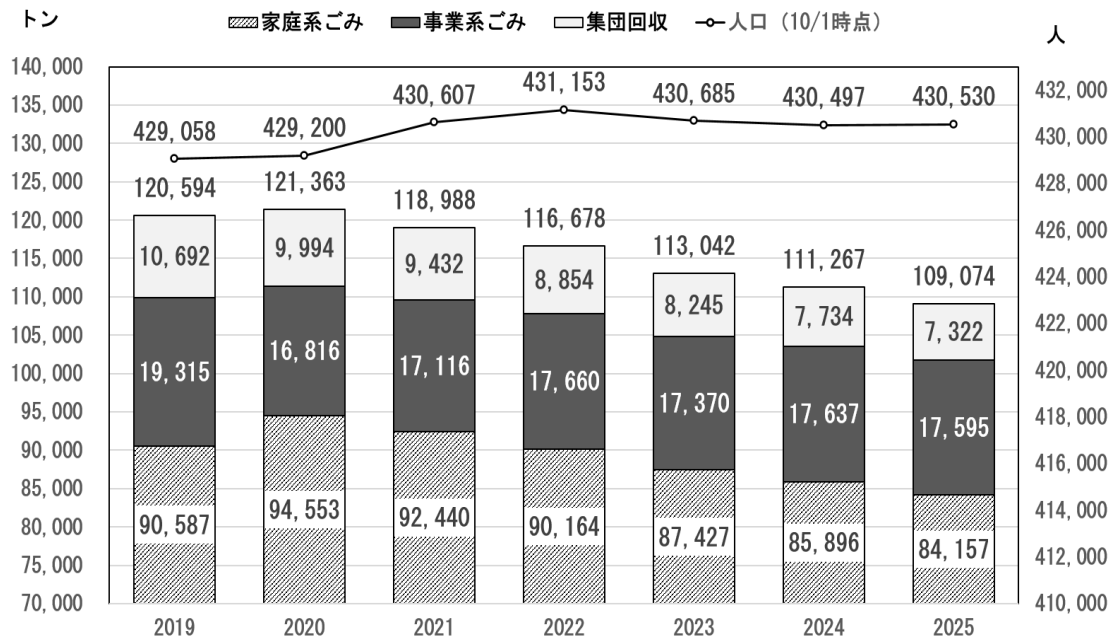


図2 総ごみ量実績値と目標値の比較

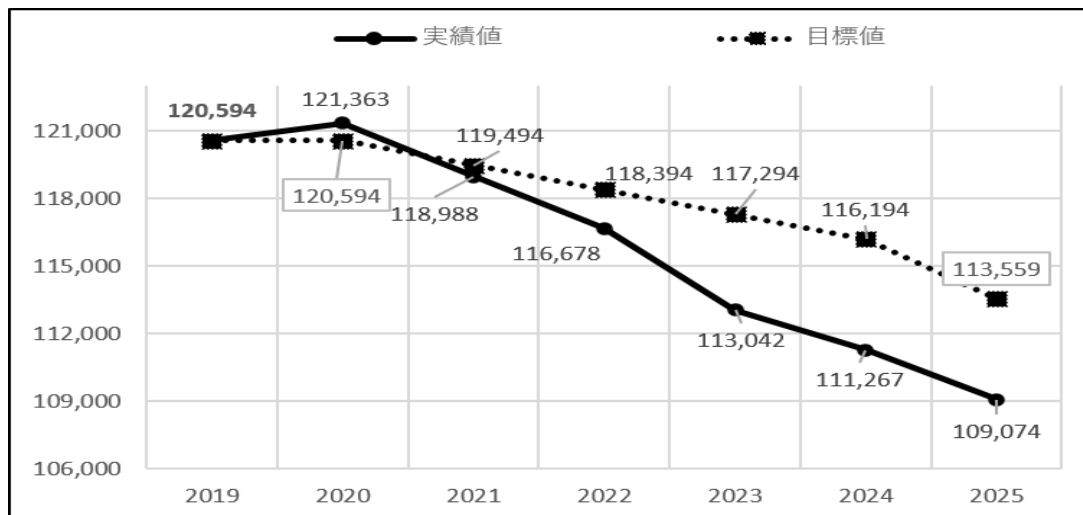


表 1 資源とごみの内訳

(1) 収集・持込量

単位:t/年

年度			2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	前年度増減比	総ごみ量に 占める割合		
人口(10月1日時点) 単位:人			429,058	429,200	430,607	431,153	430,685	430,497	430,530	0.0%			
世帯数(10月1日時点)			195,643	197,711	200,182	205,236	206,896	208,688	210,393	0.8%			
収集・持込量	ごみ	燃やせるごみ	収集分	63,665	65,795	64,086	62,802	60,908	60,004	59,200	-1.3%	58.18%	
			持込分	705	601	588	652	638	431	398	-7.7%	0.39%	
			事業系持込分	19,315	16,816	17,116	17,660	17,370	17,637	17,595	-0.2%	17.29%	
			計	83,685	83,212	81,790	81,114	78,916	78,072	77,193	-1.1%	75.86%	
		燃やせないごみ	収集分	7,209	7,995	7,418	6,810	6,677	6,597	6,250	-5.3%	6.14%	
			持込分	49	75	39	36	35	34	31	-8.8%	0.03%	
			計	7,258	8,070	7,457	6,846	6,712	6,631	6,281	-5.3%	6.17%	
			粗大	収集分	1,586	1,576	1,595	1,541	1,575	1,602	1,587	-0.9%	1.56%
		持込分		1,647	1,705	1,903	1,978	1,889	1,965	1,863	-5.2%	1.83%	
		計	3,233	3,281	3,498	3,519	3,464	3,567	3,450	-3.3%	3.39%		
		有害	133	156	143	156	150	155	157	1.3%	0.15%		
	ごみ量小計			94,309	94,719	92,888	91,635	89,242	88,425	87,081	-1.5%	85.58%	
	資源	収集分	古紙※1	7,681	8,127	7,929	7,847	7,420	7,293	7,088	-2.8%	6.97%	
			古着・古布	1,099	1,296	1,200	1,114	1,066	1,073	1,041	-3.0%	1.02%	
			発泡トレイ※2	8	8	7	13	12	12	12	0.0%	0.01%	
			紙パック※2	15	15	14	15	15	14	14	0.0%	0.01%	
			小型家電※3	6	7	9	10	11	15	19	26.7%	0.02%	
			ペットボトル※3	1,048	1,094	1,144	1,182	1,203	1,179	1,196	1.4%	1.18%	
			容器包装プラスチック※4	408	429	828	849	845	862	850	-1.4%	0.84%	
			剪定枝	574	619	491	473	475	463	418	-9.7%	0.41%	
			ビン	2,721	2,914	2,774	2,664	2,555	2,397	2,323	-3.1%	2.28%	
			カン	933	1,058	1,048	995	950	963	921	-4.4%	0.91%	
			計	14,493	15,567	15,444	15,162	14,552	14,271	13,882	-2.7%	13.64%	
		持込分	リサイクル広場まちだ	107	89	86	96	99	100	92	-8.0%	0.09%	
			剪定枝	993	994	1,138	931	904	737	697	-5.4%	0.68%	
			計	1,100	1,083	1,224	1,027	1,003	837	789	-5.7%	0.78%	
		資源量小計			15,593	16,650	16,668	16,189	15,555	15,108	14,671	-2.9%	14.42%
		合計(総ごみ量)			109,902	111,369	109,556	107,824	104,797	103,533	101,752	-1.7%	100.00%
集団回収量 (町内会・子ども会などの回収)		回収団体数 (単位:団体)	371	353	340	331	317	310	304	-1.9%			
	ビン	208	205	197	187	180	168	160	-4.8%				
	カン	253	242	237	225	221	213	207	-2.8%				
	古紙	9,539	8,871	8,370	7,873	7,305	6,819	6,438	-5.6%				
	古着・古布	692	676	628	569	539	534	517	-3.2%				
	合計	10,692	9,994	9,432	8,854	8,245	7,734	7,322	-5.3%				
総合計(総ごみ量+集団回収量)			120,594	121,363	118,988	116,678	113,042	111,267	109,074	-2.0%			

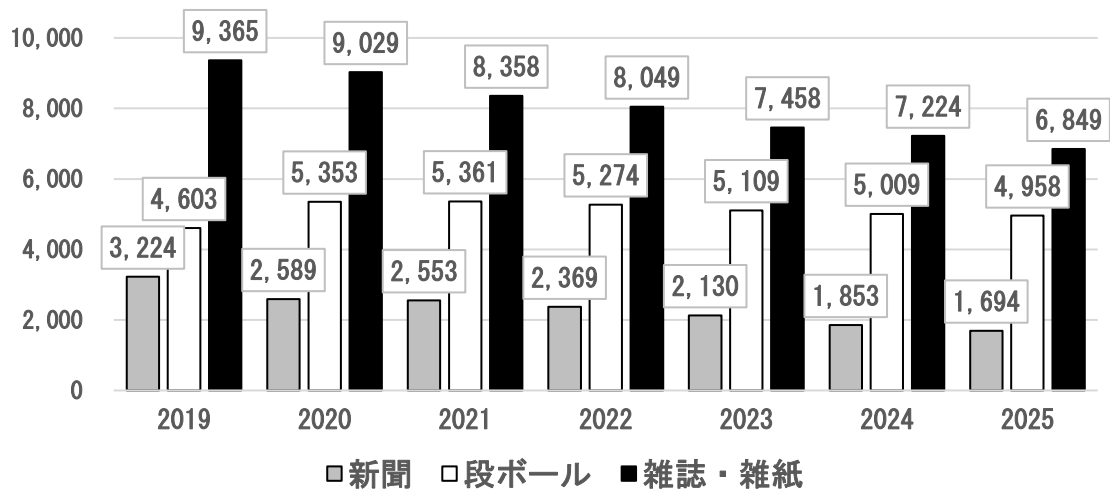
※1 古紙の内訳は、集積所に排出される新聞、段ボール、雑誌・雑紙、紙バック。

※2 発泡トレイ・紙バック・小型家電は、拠点回収をしたもの。

※3 小型家電・ペットボトルは、拠点回収と行政収集をしたもの。

※4 容器包装プラスチックは2020年度まで資源化量としていましたが、2021年度からは収集量(不適物も含む)としています。

図 3 古紙内訳 (集団回収含む)



◆ごみ量の傾向◆

▶家庭系

- ・燃やせるごみ・燃やせないごみについて、2020 年度をピークに減少が続いています。
- ・粗大ごみについて、収集・持込数ともに減少しています。
- ・有害ごみ（電池や蛍光管など）について、2024 年度より増加していますが、2023 年度に小型充電式電池及び充電式小型家電を回収品目に追加したことが要因と考えられます。
- ・資源は、集団回収も含め減少傾向にあります。資源のうち最も収集量の多い古紙については、特に新聞の減少率が大きく、2019 年度と比較すると約 48%減少しています。雑誌・雑紙についても、2019 年度から約 27%減少しています。

▶事業系

- ・燃やせるごみについて、2022 年度からほぼ横ばいとなっています。

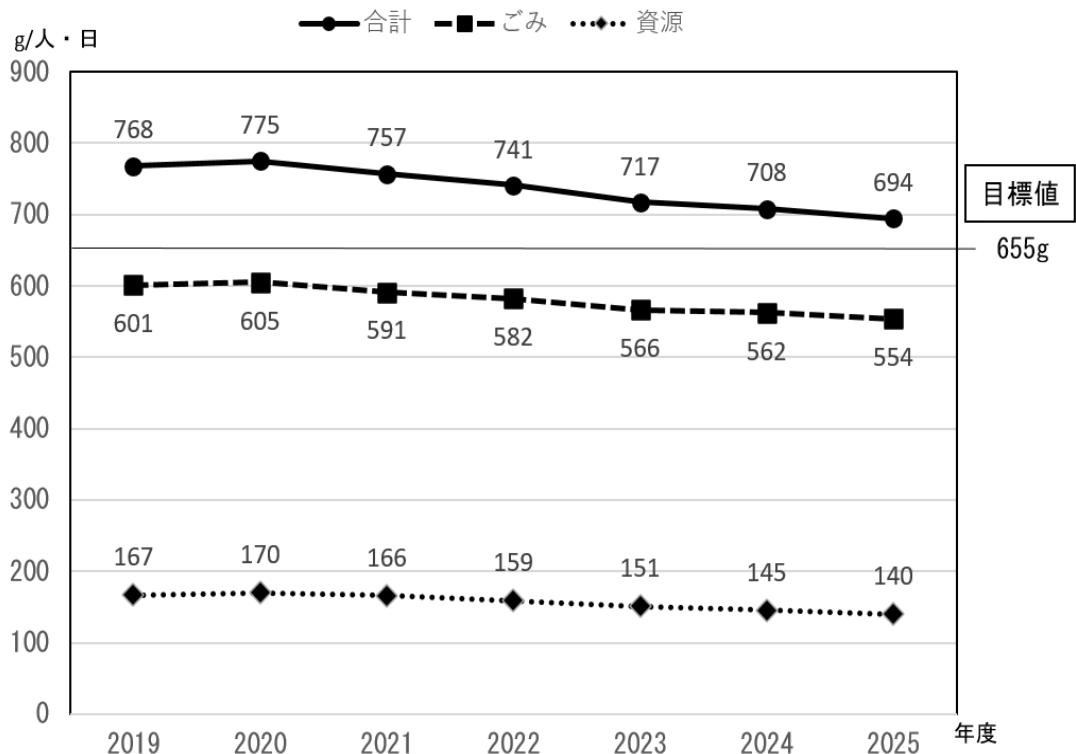
2. 第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画（2026年3月一部改定）の進捗状況

（1）目標に対する進捗状況

①【全体目標1】「1人1日当たりのごみ排出量」を「2019年度比15%削減」する

- ・発生抑制を重視し、1人1日当たりのごみ量（資源を含む）を2030年度までに655g/人・日に削減することを目標としています。
- ・2025年度は、2019年度比で74g（9.6%）減少して694g/人・日となり、前年度比は14g（2.0%）減少となっています。

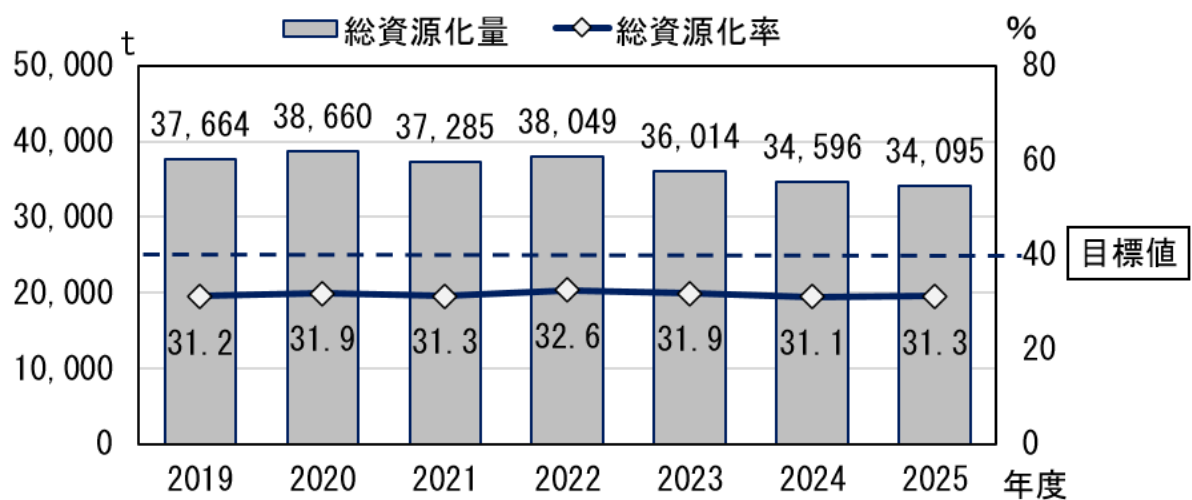
図5 1人1日当たりのごみ排出量の推移



②【全体目標 2】「総資源化率」を「40%」まで高める

- ・生ごみのバイオガス化施設でのメタン化をはじめとした総資源化率の向上に向けた取組を進めることにより、2030 年度までに 40%まで高めることを目標としています。
- ・2025 年度は、2019 年度比で 0.1 ポイント増加して 31.3%となりました。目標を達成するため、残り 8.7 ポイント増加する必要があります。なお、前年度比は 0.2 ポイント増加となっています。

図 6 資源化量と総資源化率の推移



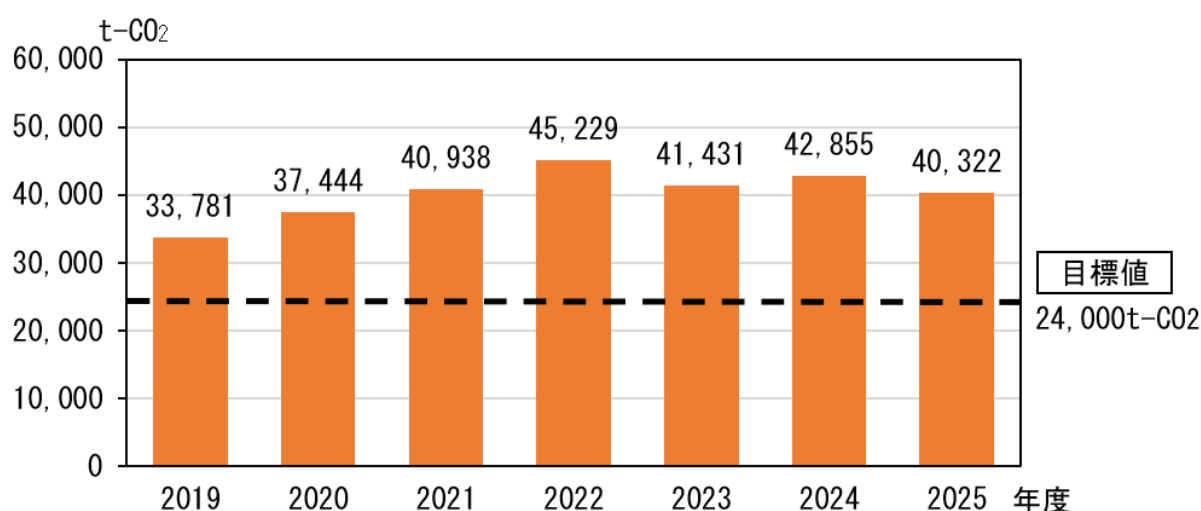
◆主な増減要因◆

- ・資源化量は前年を下回ったものの、ごみの排出量全体の減少幅がそれを上回ったため、資源化率は前年より上昇しました。

③【全体目標 3】「温室効果ガス排出量」を「2019 年度比 30%削減」する

- ・発生抑制及びプラスチックの資源化を推進することで、ごみの焼却による温室効果ガス排出量を 2030 年度までに 24,000t-CO₂ へ削減することを目標としています。
 - ・2025 年度は、2019 年度比で 6,541 t-CO₂ (19.4%) 増加して 40,322 t-CO₂ となりました。目標を達成するため、残り 16,322 t-CO₂ 減少させる必要があります。
- なお、前年度比は 2,533t-CO₂ (5.9%) 減少となっています。

図 7 温室効果ガス排出量の推移



◆主な増減要因◆

- ・温室効果ガス排出量の多くを占めるのは、プラスチック類及び合成繊維の焼却に伴い排出される CO₂ になります。それぞれ焼却されるごみに含まれる割合を 2024 年度と比較すると、プラスチック類が 7.4 ポイント減少、合成繊維が 2.4 ポイント増加しています。
- ・2023 年 11 月に発生した火災の影響で、停止していたバイオガス化施設が、2025 年 7 月から再稼働しているため、2024 年度に比較して焼却量は減少しました。

3. 第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプランの進捗状況

▶ 家庭系ごみ

表3【組成調査から推定した燃やせるごみ・燃やせないごみに含まれるごみ量の推移】

ごみの種類	2019(基準)	2021	2022	2023	2024	2025		2025(目標)		目標 達成率
	推定量(t)	推定量(t)	推定量(t)	推定量(t)	推定量(t)	推定量(t)	2019年度比	目標値(t)	2019年度比	
生ごみ	22,457	24,206	23,834	20,067	20,475	22,095	-362	20,457	-2,000	18.1%
うち食品ロス	10,058	11,208	11,179	9,931	10,205	10,891	833	8,058	-2,000	-41.6%
容器包装プラスチック	13,162	11,396	12,920	12,937	12,137	11,385	-1,777	11,962	-1,200	148.0%
古紙	3,764	3,580	4,711	4,549	4,018	4,110	346	3,264	-500	-69.3%
その他	35,612	36,590	32,509	34,319	34,158	31,895	-3,717	34,112	-1,500	247.8%

◆ ごみ量の傾向 ◆

- ・生ごみについて、2025年度実績は、基準年度比 362 t 削減（目標 2,000 t 削減、達成率 18.1%）となりました。2023年度に大きく減少したのち、2024年度から増加傾向となっています。
- ・そのうち食品ロスについて、2025年度実績は、基準年度比 833 t 増加（目標 2,000 t 削減、達成率-41.6%）となりました。2023年度に大きく減少したのち、2024年度から増加傾向となっています。
- ・容器包装プラスチックについて、2025年度実績は、基準年度比 1,777 t 削減（目標 1,200 t 削減、達成率 148.0%）となりました。2024年度から減少傾向となっています。
- ・古紙について、2025年度実績は、基準年度比 346 t 増加（目標 500 t 削減、達成率-69.3%）となりました。2022年度に増加したのち、減少傾向が続いていましたが、2025年度は増加しました。
- ・その他のごみについて、2025年度実績は、基準年度比 3,717 t 削減（目標 1,500 t 削減、達成率 247.8%）となりました。

▶ 事業系ごみ

表4【事業ごみの推移】

ごみの種類	2019(基準)	2021	2022	2023	2024	2025		2025(目標)		目標 達成率
	実績(t)	実績(t)	実績(t)	実績(t)	実績(t)	実績(t)	2019年度比	目標値(t)	2019年度比	
事業系ごみ	19,315	17,116	17,660	17,370	17,637	17,596	-1,719	18,315	-1,000	171.9%

◆ ごみ量の傾向 ◆

- ・2022年度以降ほぼ横ばいとなっています。